

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 登録実用新案公報(U)

(11) 実用新案登録番号  
**実用新案登録第3155539号**  
**(U3155539)**

(45) 発行日 平成21年11月19日(2009.11.19)

(24) 登録日 平成21年10月28日(2009.10.28)

(51) Int.Cl. F 1  
**A 4 7 B 41/00 (2006.01)** A 4 7 B 41/00  
**A 4 7 B 17/04 (2006.01)** A 4 7 B 17/04  
**A 4 7 B 7/00 (2006.01)** A 4 7 B 7/00 A

評価書の請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 9 頁)

(21) 出願番号 実願2009-6461 (U2009-6461)  
 (22) 出願日 平成21年9月9日(2009.9.9)

(73) 実用新案権者 509254029  
 田中 良典

(74) 代理人 100074055  
 弁理士 三原 靖雄

(72) 考案者 田中 良典

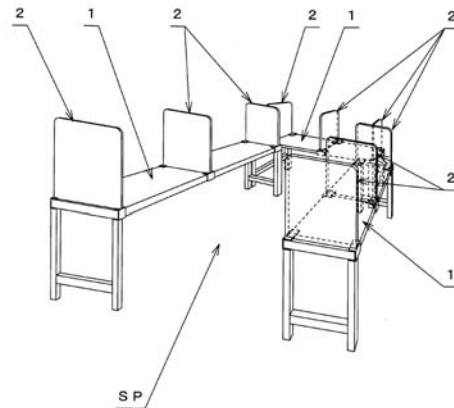
(54) 【考案の名称】 複数人対応型個別指導用学習机

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】 限られた省空間でも、圧迫感がなく、周りに気を使うことなく、勉強に集中出来、且つ、教師が複数人の生徒に対して個別指導が迅速に対応出来る複数人対応型個別指導用学習机を提供する。

【解決手段】 2人が座れる程度の複数の長尺机1と、該長尺机に設置された複数の仕切り板2から成り、且つ、長尺机1及び仕切り板2を設置する時は、学習する生徒の人数に合わせて、長尺机の使用数を適宜調整し、且つ、長尺机の配置は教師が常に生徒の視界内にある、迅速に個別指導及び情報伝達が可能な方向とし、且つ、仕切り板2の設置方向は、長尺机1の長手方向に対して垂直方向にそれぞれ設置する。

【選択図】 図1



## 【実用新案登録請求の範囲】

## 【請求項 1】

1 人対 1 人、又は、1 人対 6 人程度までの複数人の生徒に対して常時個別指導が可能な学習機であって、該学習機は 2 人が座れる程度の複数の長尺学習機 (1) と、該長尺学習機 (1) 上の長手方向に等間隔に設置された複数の仕切り板 (2) から成り、且つ、長尺学習機 (1) 及び仕切り板 (2) を設置する時は、学習する生徒 (ST) の人数に合わせて、長尺学習機 (1) の使用数を適宜調整し、且つ、長尺学習機 (1) の配置方向は教師 (TE) が常に生徒 (ST) の視界内であって、迅速に個別指導及び情報伝達が可能な方向とし、且つ、仕切り板 (2) の設置場所は、各生徒が、両隣の生徒の存在が気にならないようにする為、長尺学習機 (1) の長手方向に対して垂直方向にそれぞれ設置した事を特徴とする複数人対応型個別指導用学習機。

10

## 【請求項 2】

長尺学習機 (1) の配置方向をコの字形状に配置して、教師 (TE) と各生徒 (ST) がそれぞれ対向するよう、生徒 (ST) は長尺学習機 (1) の外周位置に着席し、且つ、教師 (TE) は包囲した長尺学習機と長尺学習機の挟間 (SP) に位置する事で、常時、教師 (TE) が複数人の生徒 (ST) に対して、個人指導が出来る態勢を確保する事を特徴とする請求項 1 記載の複数人対応型個別指導用学習機。

## 【請求項 3】

学習機は一人一人が個別に座れる単独学習機 (1') とし、且つ、該学習機 (1') の左右両端に仕切り板 (2) をそれぞれ設置した事を特徴とする請求項 1 又は請求項 2 記載の複数人対応型個別指導用学習機。

20

## 【考案の詳細な説明】

## 【技術分野】

## 【0001】

この考案は、複数人対応型個別指導用学習機に関するものである。

## 【背景技術】

## 【0002】

従来、3 人以上の生徒に対して個別に指導する場合、教師が常に横又は側近についている状況を作るとは困難であった。

30

## 【0003】

又、前方及び左右の視界を遮ることを目的にした個別指導用ブースは、構造上、広く場所を取らざるを得ない。又、視界を遮ることによる生徒に与える圧迫感が問題であった。

## 【0004】

そこで、上記の問題を解決するべく、一人の教師が複数人 (6 人程度迄) の生徒を個別指導可能な、個別指導用学習機の早期開発・提供が望まれている。

## 【0005】

これまでに出版されている個別指導用学習機に関する特許文献を参考の為、紹介する (特許文献 1 ~ 2 参照)。

40

## 【先行技術文献】

## 【特許文献】

## 【0006】

【特許文献 1】特開 2006 - 055468

【特許文献 2】特開 2008 - 142507

## 【考案の概要】

## 【考案が解決しようとする課題】

## 【0007】

そこで、上記課題を解決する為、この考案は限られた省空間でも、圧迫感がなく、周りに気を使うことなく、勉強に集中出来、且つ、教師が複数人の生徒に対して個別指導

50

が迅速に対応出来る複数人対応型個別指導用学習機を開発・提供する事にある。

【課題を解決するための手段】

【0008】

この課題を解決するための手段として、2人が座れる程度の複数の長尺機と、該長尺機に設置された複数の仕切り板から成り、且つ、長尺機及び仕切り板を設置する時は、学習する生徒の人数に合わせて、長尺機の使用数を適宜調整し、且つ、長尺機の配置は教師が常に生徒の視界内であって、迅速に個別指導及び情報伝達が可能な方向とし、且つ、仕切り板の設置方向は、長尺機の長手方向に対して垂直方向に設置したものである。

【0009】

又、長尺学習機の配置方向をコの字形状に配置して、教師と各生徒がそれぞれ対向するよう生徒は長尺学習機の外周位置に着席し、且つ、教師は包囲した長尺学習機と長尺学習機の挟間に位置する事で、常時、教師が複数人の生徒に対して、個人指導が出来る態勢を確保するものである。

【考案の効果】

【0010】

この考案の効果として、2人が座れる程度の複数の長尺機と、該長尺機に設置された複数の仕切り板から成り、且つ、長尺機及び仕切り板を設置する時は、学習する生徒の人数に合わせて、長尺機の使用数を適宜調整し、且つ、長尺機の配置は教師が常に生徒の視界内であって、迅速に個別指導及び情報伝達が可能な方向とし、且つ、仕切り板の設置方向は、長尺機の長手方向に対して垂直方向に設置したものである。又、長尺学習機の配置方向をコの字形状に配置して、教師と各生徒がそれぞれ対向するよう、生徒は長尺学習機の外周位置に着席し、且つ、教師は包囲した長尺学習機と長尺学習機の挟間に位置する事で、常時、教師が複数人の生徒に対して、個人指導が出来る態勢を確保する事で、常時、教師が複数人の生徒に対して、個人指導が出来る態勢を確保することで、省空間でも、圧迫感がなく、周りに気を使うことなく、勉強に集中出来、且つ、教師が複数の生徒に対して個別指導が迅速に対応出来、又、限られた狭い場所でも学習出来、且つ、教師が常時、複数人の生徒に対して、個人指導が出来る等、極めて有益なる効果を奏するものである。

【図面の簡単な説明】

【0011】

【図1】この考案の一実施例を示し、コの字形状に配置時の長尺学習機の斜視図である。

【図2】この考案の使用例を示し、生徒と教師の配置及び教師と生徒間の視界性を示す平面図である。

【図3】この考案の使用例を示し、各生徒の死角範囲を示す平面図である。

【図4】この考案のその他の実施例を示し、単独学習機使用時の生徒と教師の配置及び教師と生徒間の視界性を示す平面図である。

【考案を実施するための形態】

【0012】

この考案を実施するための形態として、1人対1人、又は、1人対6人程度までの複数人の生徒に対して常時個別指導が可能な学習機であって、該学習機は2人が座れる程度の複数の長尺学習機(1)と、該長尺学習機(1)上の長手方向に等間隔に設置された複数の仕切り板(2)から成り、且つ、長尺学習機(1)及び仕切り板(2)を設置する時は、学習する生徒(ST)の人数に合わせて、長尺学習機(1)の使用数を適宜調整し、且つ、長尺学習機(1)の配置方向は教師(TE)が常に生徒(ST)の視界内であって、迅速に個別指導及び情報伝達が可能な方向とし、且つ、仕切り板(2)の設置場所は、各生徒が両隣の生徒の存在が気にならないようにする為、長尺学習機(1)の長手方向に対して垂直方向にそれぞれ設置した事の特徴とする複数人対応型個別指導用学習機から構成される。

【0013】

又、長尺学習機(1)の配置方向をコの字形状に配置して、教師(TE)と各生徒(ST)がそれぞれ対向するよう、生徒(ST)は長尺学習機(1)の外周位置に着席し、

且つ、教師（TE）は包囲した長尺学習機と長尺学習機の挟間（SP）に位置する事で、常時、教師（TE）が複数人の生徒（ST）に対して、個人指導が出来る態勢を確保する事を特徴とする複数人対応型個別指導用学習機から構成される。

【実施例 1】

【0014】

そこで、この考案の一実施例を図 1 に基づいて詳述すると、長尺学習機（1）の大きさは 2 人程度が学習出来る市販のスチール製、又は、木製の折り畳み式長脚トレニア（横幅：約 450 mm × 長さ：約 1800 mm × 高さ：約 750 mm）を使用するか、或いは、手作り製の長機の何れを使用しても構わない。

【0015】

次に、長尺学習機（1）と仕切り板（2）の設置方法について説明すると、上記の長尺学習機（1）を図 2 に示す様に、コの字形状に並べ、そして、長尺学習機（1）の左右及び中間部には、一つの長尺学習機（1）に座る生徒（ST）の人数を 2 人にする場合、仕切り板（2）の使用枚数を、長尺学習機（1）の長手方向に対して、垂直方向に、左・中・右の 3 箇所が均等に成る様にバランス良く設置する。

【0016】

そして、コの字形状に包囲して並設した長尺学習機（1）の中間入口付近に教師（TE）が立った時、教師（TE）の視線（EL）が各生徒（ST）の姿が確認出来るか確認し、見え難い場合は、それぞれの長尺学習機（1）を左右・上下に移動調整して見え易い場所を確保する。

【0017】

そして、図 3 に示す様に各生徒（ST）が座席に着席した時、左右に設置したそれぞれの仕切り板（2）（2）によって死角（BC）（BC）を作り、隣の席の人が見え難い状況にあるか否かを見ながら、再度、机の位置の微調整を行いながら、見え難い位置を確保する。この時、対向する座席（長尺学習機）と座席（長尺学習機）間の距離が接近しすぎると、対向する相手の生徒が気になる為、適度な距離を確保する。

【実施例 2】

【0018】

その他の実施例として、1 人对 1 人、又は、1 人对 6 人程度までの複数人の生徒に対して常時個別指導が可能な学習機であって、該学習機は一人一人が個別に座れる単独学習機（1'）と、該単独学習機（1'）上の左右両端部に設けた仕切り板（2）（2）から成り、且つ、単独学習機（1'）及び仕切り板（2）（2）を設置する時は、学習する生徒（ST）の人数に合わせて、単独学習機（1'）の使用数を適宜調整し、且つ、単独学習機（1'）の配置方向は教師（TE）が常に生徒（ST）の視界内にあって、迅速に個別指導及び情報伝達が可能な方向とし、且つ、仕切り板（2）の設置場所は、各生徒が両隣の生徒の存在が気にならないようにする為、単独学習機（1'）の長手方向に対して垂直方向にそれぞれ設置した事を特徴とする複数人対応型個別指導用学習機から構成される。

【0019】

又、単独学習機（1'）の配置方向をコの字形状に配置して、それぞれの生徒（ST）同士が対向するよう単独学習機（1'）の外周位置に着席し、且つ、教師（TE）は包囲した単独学習機（1'）と単独学習機（1'）の挟間（SP）に位置する事で、常時、教師（TE）が複数人の生徒（ST）に対して、個人指導が出来る態勢を確保するものである。

【0020】

又、上記複数人対応型個別指導用学習機は図 4 に示す様に個々の机の左右両端に仕切り板が設置されている為、隣合わせの仕切り板（2）（2）が重複する為、適宜状況に応じて、左右のどちらか一方の仕切り板（2）を取り外して使用しても構わない。

【産業上の利用可能性】

【0021】

この考案の複数人対応型個別指導用学習機は、限られた省空間でも、圧迫感がなく、

10

20

30

40

50

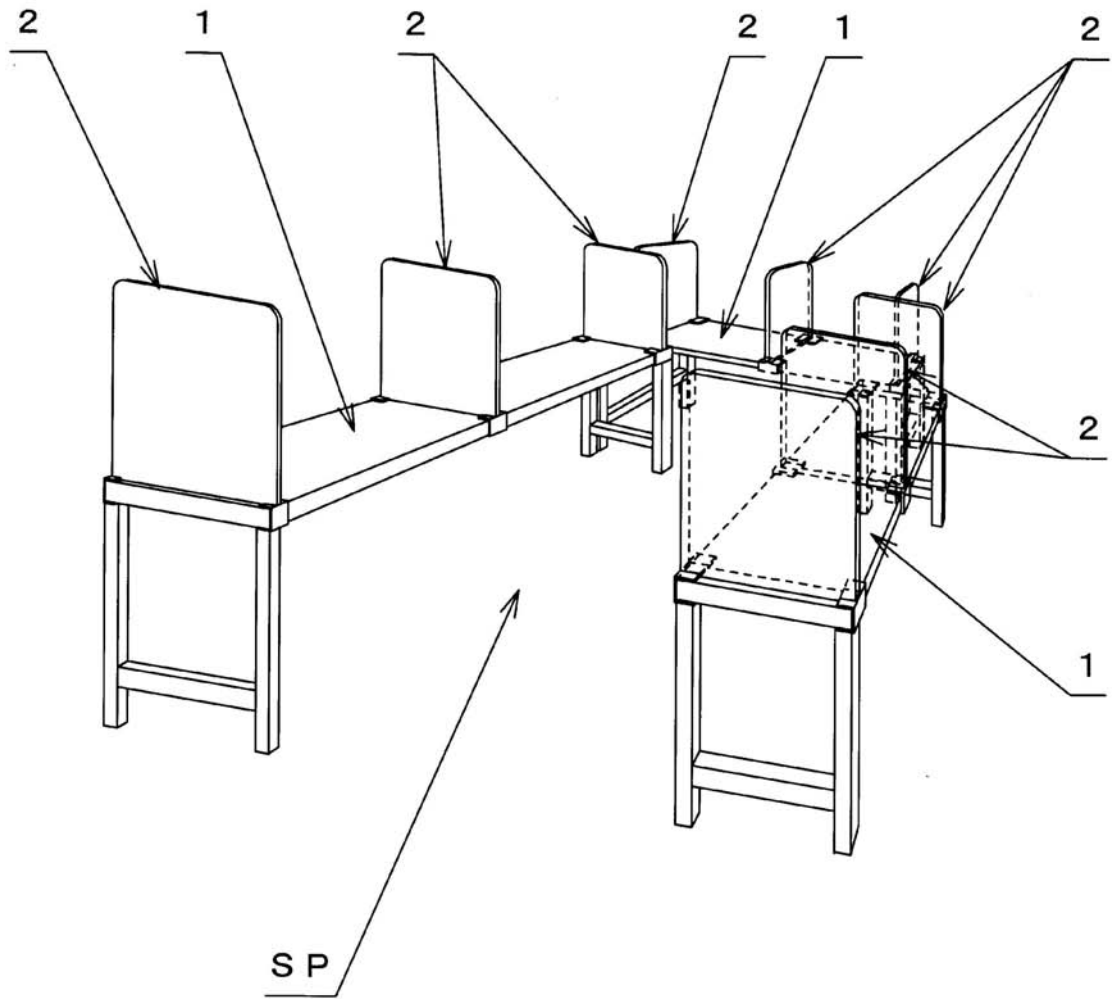
周りに気を使うことなく、勉強に集中出来、且つ、教師が複数人の生徒に対して個別指導が迅速に対応出来る事で、多くの個別指導を行う学習塾等の教育関係市場に寄与する為、産業上の利用可能性を有する。

【符号の説明】

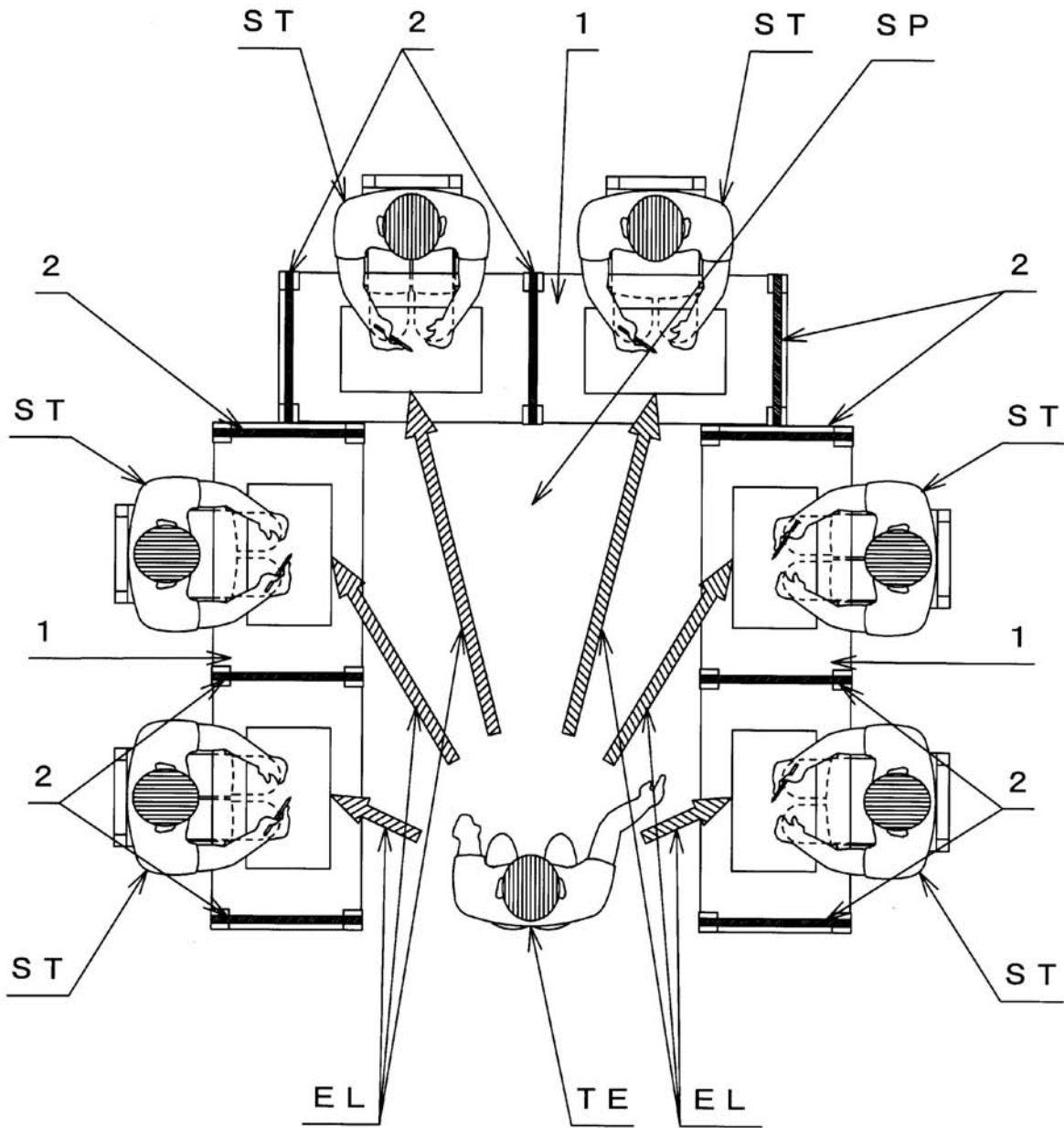
【 0 0 2 2 】

- 1 長尺学習機
- 1' 単独学習機
- 2 仕切り板
- B C 死角（生徒）
- E L 視線（教師）
- S P 挟間
- S T 生徒
- T E 教師

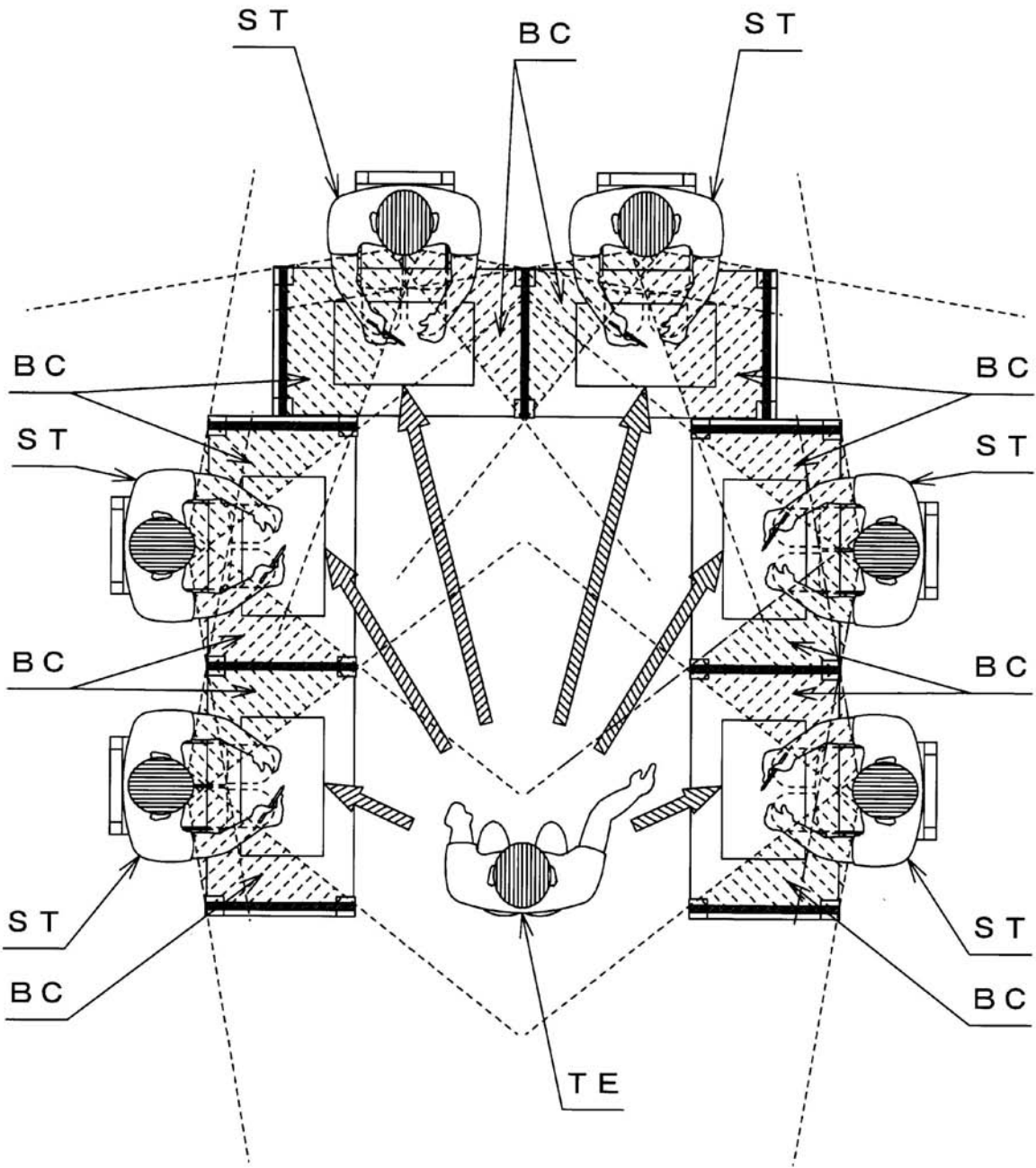
【 図 1 】



【 図 2 】



【図3】





【 図 4 】

